

シラバス

科目名	鉄道英語 I		担当者名	岡崎 志織	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	鉄道業務で必要な実践的な会話力を身に付ける。トラブルの対応にも英語で応じられるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	特に駅などで接客するうえで、必要な英語表現を学び、それが実践的に使えるようになる。				
授業概要	基本的な表現を確認し、様々な状況を想定しロールプレーなどを行っていく。 また、時刻表を使用し、的確な情報を英語で伝える練習も行う。 Listening力向上も目指す。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	授業の概要とオリエンテーション Lesson 1	19	Lesson 9	
	2	Lesson 1	20	Lesson 9	
	3	Lesson 2	21	Lesson 10	
	4	Lesson 2	22	Lesson 10	
	5	Lesson 3	23	Lesson 11	
	6	Lesson 3	24	Lesson 11	
	7	Lesson 4	25	Lesson 12	
	8	Lesson 4	26	Lesson 12	
	9	Lesson 5	27	Lesson 13	
	10	Lesson 5	28	Lesson 13	
	11	Lesson 6	29	Lesson 14	
	12	Lesson 6	30	Lesson 14	
	13	Lesson 7	31	Lesson 15	
	14	Lesson 7	32	Lesson 15	
	15	まとめ Review、試験対策	33	Lesson 16	
	16	前期末試験	34	lesson 16, 学年末試験対策	
	17	試験解説、Lesson 8	35	学年末試験	
18	Lesson 8	36	学年末試験 解説		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	前期・後期 成績表を配布	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格 但し、 相対評価	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 米国にてTESL(英語教員免許)取得 日米の教員免許所有 グローバルな視点からのホスピタリティーに満ちた実践的な英語授業を心がけています。				

シラバス

科目名	利用者目線で考える鉄道サービスI		担当者名	三宮 徳晃	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	近年、鉄道が力を入れているCSについて学ぶ 鉄道会社で勤めるうえで必要な知識を実践して身につける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	鉄道マンひいては社会人としての接客スキルを身につけ、鉄道の業務を体感する				
授業概要					
授業 計画 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	ESとは	
	2	オリエンテーション	20	サービス改善活動の考え方と進め方	
	3	鉄道の業種・現在の鉄道に求められる人材とは	21	JCSI顧客満足度調査について	
	4	鉄道のアナウンスとは	22	鉄道各社の取り組み	
	5	アナウンス実践	23	他者との関わり方(ストローク)	
	6	異常時のアナウンス	24	お客さまの声分析	
	7	鉄道の業務的知識・鉄道に必要な知識	25	クレーム対応の知識	
	8	乗車券の種類(JRグループの場合)	26	クレームとコンプレイン	
	9	大都市近郊区間	27	敬語の学び	
	10	東京近郊の鉄道路線	28	ビジネス用語の学び	
	11	路線図を使用したルート案内実践	29	クレーム対応時の注意点	
	12	時刻表の見方	30	実習ワーク お客さまの声に応える	
	13	ダイヤグラムの見方	31	実習ワーク お客さまの声に応える	
	14	ダイヤ作成	32	実習ワーク お客さまの声に応える	
	15	列車番号の附番方法	33	振り返り	
	16	作業ダイヤと行路 駅係員の業務	34	おさらいとまとめ	
	17	CSとは	35	期末テスト	
18	顧客が求めるCSの要素	36	1年の振り返り		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績表	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>70% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	京王電鉄で駅掛員、車掌、運転士を経験。実務経験に基づいた指導を行います。				

シラバス

科目名	あなたの知らない世界の鉄道事情 I		担当者名	濱崎 勝明	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	気象、風土、習慣、文化、経済、宗教、国民性の違いから世界には様々な鉄道が存在、各国の鉄道事情を学ぶことで、国際的な一般教養を高める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日本と世界の各国の鉄道の違いを比較しながら各国の鉄道の歴史理解する。高速鉄道を保有する現代の鉄道先進国を理解する。				
授業概要	本年度はオンライン授業→対面授業となります。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	授業の進め方	19	海外の鉄道の乗り方	
	2	あなたが行ってみたい国は	20	海外の列車のチケットの買い方	
	3	あなたが乗ってみたい海外の列車は	21	海外から日本へ来た旅行者の気持ちを考える	
	4	日本と海外の鉄道の違いは？	22	海外から日本へ来た旅行者の気持ちを考える	
	5	日本の鉄道の優れているところ	23	海外の方に乗って欲しい日本の列車	
	6	海外の鉄道が優れているところ	24	海外の方に乗って欲しい日本の列車	
	7	グループワーク	25	海外からの旅行者が安心して利用できるには	
	8	グループワーク	26	海外からの旅行者が安心して鉄道を利用するには	
	9	グループワークの発表	27	グループワーク	
	10	日本の鉄道輸出	28	グループワーク	
	11	海外からの輸入	29	グループワークでの調べを共有	
	12	自分のおすすめの海外の鉄道を調べる	30	グループワークでの調べを共有	
	13	自分のおすすめの海外の鉄道を発表	31	海外で安心して列車乗るには	
	14	自分のおすすめの海外の鉄道を発表	32	海外の鉄道の楽しみ方	
	15	発表の総評	33	後期授業振り返り	
	16	前期授業の振り返り	34	期末テスト	
	17	前期期末テスト	35	期末テスト返却、フィードバック	
18	期末テスト返却、フィードバック	36	1年の振り返り		
成績割合	テスト	60	学習FB方法	成績表による	
	学習態度・出席率	30			
	レポート	10	成績評価	出席率80%以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40 R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>30 G<<海外体感型学習>>30				
講師プロフィール	コンサルタント 鉄道会社、ホテル、車両部品メーカーの技術開発に従事 2015年、JETROシンガポールにて新幹線プロジェクトに参加				

シラバス

科目名	基礎ゼミ		担当者名	三宮 徳晃	
学 科	鉄道交通科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	テクノス鉄道アカデミー 鉄道会社とコラボをして、イベント運営や商品開発を学びます。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	物事に真摯に向き合うことを学び、商品開発を通じて市場開拓やビジネスの基礎、ファンづくりの目線を学ぶ。				
授業概要	グループワークを基本に、工作的作業なども行う				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業の進め方	19	テクノス祭に向けて	
	2	どうして鉄道が好きになったか振り返る	20	テクノス祭に向けて	
	3	どうして鉄道が好きになったか振り返る	21	テクノス祭の振り返り	
	4	市場分析1	22	鉄道会社交渉	
	5	市場分析2	23	鉄道会社交渉2	
	6	基礎講座1	24	商品開発1	
	7	基礎講座2	25	商品開発2	
	8	プロの心構え	26	商品開発3	
	9	企画書作成 I	27	アカデミー開催	
	10	企画書作成2	28	アカデミー開催の反省	
	11	プレゼン準備	29		
	12	プレゼン1	30	ここまでの振り返り	
	13	プレゼン2	31	最終報告会へ向けて	
	14	機密保持契約とは	32	最終報告会パワポ作成	
	15	中間報告会パワポ作成	33	最終報告会リハーサル	
	16	中間報告会練習	34	最終報告会	
	17	中間報告会	35	最終報告会の振り返り	
18	中間報告会振り返り	36	来年度応用ゼミに向けて		
成績割合	テスト	20	学習FB方法	成績表による	
	学習態度・出席率	50			
	レポート	30	成績評価	出席率80%以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>30 G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	京王電鉄にて駅務、車掌、運転士を経験。実務経験に基づいた指導に務めます。				

シラバス

科目名	鉄道サービス I		担当者名	三宮 徳晃	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)					
授業概要					
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1		19		
	2		20		
	3		21		
	4		22		
	5		23		
	6		24		
	7		25		
	8		26		
	9		27		
	10		28		
	11		29		
	12		30		
	13		31		
	14		32		
	15		33		
	16		34		
	17		35		
18		36			
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	とことん就職SPI対策 I		担当者名	奥村 大介		
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	36時間	
授業目的	SPIの基本と対策を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	演習問題を繰り返し説くことで基礎を学ぶ					
授業概要	各分野の解き方解説と問題演習					
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容		
	1	推論	19	速さ②		
	2	推論②	20	割合・比①		
	3	損益算①	21	割合・比②		
	4	損益算②	22	代金の精算①		
	5	図表の読み取り①	23	代金の精算②		
	6	図表の読み取り②	24	二語関係①		
	7	集合①	25	二語関係②		
	8	集合②	26	熟語の意味①		
	9	順列・組み合わせ①	27	熟語の意味②		
	10	順列・組み合わせ②	28	熟語の成り立ち①		
	11	確率①	29	熟語の成り立ち②		
	12	確率②	30	文の並び替え①		
	13	料金の割引①	31	文の並び替え②		
	14	料金の割引②	32	空欄補充①		
	15	分割払い・仕事算①	33	空欄補充②		
	16	分割払い・仕事算②	34	長文読解①		
	17	速さ	35	長文読解②		
18	ここまでの単元のテスト	36	期末テスト			
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S:90～100点 A:80～89点 B:70～79点		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>0%					
講師プロフィール	実務経験を持つ教員が担当					

シラバス

科目名	地域開発		担当者名	濱崎 勝明	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	地域創生の取組を研究し、ケース別に成功要因を分析する				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<ul style="list-style-type: none"> ・成功事例を自ら探す積極性を伸ばす ・仮説構築力と、正確な情報ソースに基づいた検証 ・テーマを深掘りし、提案力を磨く 				
授業概要	国内における地域創生の成功事例をグループに分かれて研究する <ul style="list-style-type: none"> ・一つのプレゼンテーションを繰り返しブラッシュアップすることで、自身が取り組むテーマへの理解を深める ・提案内容繰り返し精査するとともに、グループで協力しながら信頼性の高いデータを生徒自身が探し出して照合し、説得力の高い提案をまとめる 				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業方針の説明	19	グループごとに提案を発表し、質疑応答(グループ1組ずつ実施)	
	2	グループ作成	20	グループごとに提案を発表し、質疑応答(グループ1組ずつ実施)	
	3	リーダーと役割の決定	21	グループごとに調査結果を発表し、質疑応答(グループ1組ずつ実施)	
	4	グループ別に、国内の成功事例を探す	22	調査結果におけるポジティブな反省点を検証・共有	
	5	グループごとに事例の要点をまとめる	23	提案における視点や気づき、生徒相互に他グループへのフィードバックを行う	
	6	簡単なプレゼンテーションの作成	24	生徒個人別に、通じて気づいたことをレポートで提出	
	7	各グループで概要を発表し、質疑応答(4グループのうち2グループ/1回目)	25		
	8	各グループで概要を発表し、質疑応答(4グループのうち2グループ/1回目)	26	グループで、地域創生の課題を探す	
	9	仮発表をもとに、実際の数値やソースの正確性を検証する	27	地域創生の成功要因を探す	
	10	検証を元に仮発表(4グループ) 情報の信憑性についてのフィードバック	28	課題とする地域をテーマに、地域創生の提案を作成する①	
	11	検証を元に仮発表検証を元に仮発表(4グループ) 情報の信憑性について再度フィードバック	29	課題とする地域をテーマに、地域創生の提案を作成する②	
	12	2回目の仮発表でフィードバックされた、数値の信憑性を精査するその①	30		
	13	2回目の仮発表でフィードバックされた、数値の信憑性を精査するその①	31		
	14	最終発表前の調査・裏付けの確認・プレゼン資料の制作・フィードバック(グループ1組ずつ実施)	32	4グループのうち2グループが発表	
	15	最終発表前の調査・裏付けの確認・プレゼン資料の制作・フィードバック(グループ1組ずつ実施)	33	4グループのうち2グループが発表	
	16	最終発表前の調査・裏付けの確認・プレゼン資料の制作・フィードバック(グループ1組ずつ実施)	34		
	17	最終発表前の調査・裏付けの確認・プレゼン資料の制作・フィードバック(グループ1組ずつ実施)	35		
18	グループごとに提案を発表し、質疑応答(グループ1組ずつ実施)	36			
成績割合	テスト	40%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	40%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>45% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>45% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	コンサルタント 鉄道会社、ホテル、車両部品メーカーの技術開発などに従事 2015年、JETROシンガポールにて新幹線プロジェクトに参加				

シラバス

科目名	事事故例から学ぶ鉄道の安全 I		担当者名	濱崎 勝明	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	安全に関する正しい理解を実務を通じて学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	事実に基づいた情報を分析できる能力を磨く 安全について正しい概念、鉄道で使われている専門用語の意味を理解する 実務から事故を分析し、防ぐための手段を議論し、自分の意見を述べる事ができる				
授業概要	運輸安全委員会の事故調査報告書を研究する ケース別事例分析 事故を防ぐポイントの研究 当事者、被害者やその家族、鉄道側の担当者など、それぞれの視点に経って事故の影響や悲惨さについて学ぶ				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	事例研究③-1 運輸安全委員会のレポートを分析	
	2	オリエンテーション②	20	事例研究③-2 運輸安全委員会のレポートを分析	
	3	オリエンテーション③	21	事例研究④-1 運輸安全委員会のレポートを分析	
	4	鉄道の歴史① 幹線、支線、明治時代の運輸事情	22	事例研究④-2 運輸安全委員会のレポートを分析	
	5	信号機の仕組み 自動閉塞式の解説	23	事例研究 三河島事故	
	6	事例研究①-1 運輸安全委員会のレポートを分析	24	事例研究 信楽高原鉄道事故	
	7	事例研究①-2 運輸安全委員会のレポートを分析	25	ロールプレイ① 研究事例を実際にロールプレイで体験	
	8	事例研究②-1 運輸安全委員会のレポートを分析	26	現場見取り図の作成①	
	9	事例研究②-2 運輸安全委員会のレポートを分析	27	現場見取り図の作成① 現場見取り図の作成① グループごとに事故現場の見取り図を作成	
	10	ニュースの信憑性とソースの分析① 特定の事故に関して、信頼できるニュースと信頼できないニュースを探す	28	現場見取り図の作成② グループごとに事故現場の見取り図を作成	
	11	ニュースの信憑性とソースの分析② 生徒が各自探してきたニュースの正確性、発信元、ソースを分析する	29	取扱を学ぶ① 鉄道に関する技術上の基準を定める省令の研究	
	12	事例 あなたはどう感じるか 事故の直接原因になった人の視点で、事故を分析して考える	30	取扱を学ぶ② 鉄道に関する技術上の基準を定める省令(解釈基準)の研究	
	13	用語解説① 確認とは何か	31	振り返りと、整理①	
	14	用語解説② 安全とは何か	32	振り返りと、整理②	
	15	事例研究 尼崎事故	33	期末テスト	
	16	踏切の種類 第一種から四種までの踏切 法律や症例での決まりなどについて研究	34	レポート提出	
	17	ロールプレイ 事故事例を実際の状況で学ぶ	35	レポート返却	
18	テスト 事故に対する自らの考えをレポート提出	36	まとめ		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	口頭試問、レポート提出	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	40%	成績評価	出席率70%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	コンサルタント 鉄道会社、ホテル、車両部品メーカーの技術開発に従事 2015年、JETROシンガポールにて新幹線プロジェクトに参加				

シラバス

科目名	目指せステーションマスター 鉄道営業		担当者名	三宮 徳晃	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	鉄道会社が積み重ねてきた歴史や文化、取り組みなどを通じて、就職に必要な企業情報を営業面から読み解く				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道会社の仕組みや運営を分析・評価する能力を磨く ・各鉄道会社が発信している情報から、中長期のビジョンを読み解く ・各社の歴史、過去の取り組みから鉄道会社ごとの特色や強みを発見する 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道各社のトップメッセージを読む ・分析結果を元に、大手鉄道会社各社の戦略を会社別に比較 ・街道から鉄道輸送へ、鉄道から高速鉄道への技術の進化、人の生活環境の変化を読み解く ・人の生活に寄り添う鉄道の魅力や、あるべき姿について学ぶ 				
授業 計画 表		授業内容		授業内容	
	1		19	会社ごとに研究するグループを分け、役割を決める	
	2		20	各鉄道会社のビジョンや戦略を、短い文章にまとめる	
	3		21	各鉄道会社のビジョンや戦略を、短い文章にまとめる	
	4	街道から鉄道へ	22	各鉄道会社のビジョンや戦略を、比較検討表にまとめる	
	5	鉄道輸送から高速鉄道へ	23	各鉄道会社のビジョンや戦略を、比較検討表にまとめる	
	6	高速鉄道からリニアへ	24	グループごとに概要を発表し、フィードバック	
	7	IC乗車券の仕組み	25	グループごとに概要を発表し、フィードバック	
	8	列車の所要時間の比較	26	意見の根拠になる情報を精査し、研究対象ごとにまとめる	
	9	貨物列車の衰退はなぜ起きたのか	27	数値の裏付けについて検証する	
	10	定期旅客と定期外旅客を輸送量と収入で比較する	28	最終案を仮発表し、フィードバックを行う	
	11	旅の始まりとグランツーリズム	29	最終案を仮発表し、フィードバックを行う	
	12	碓氷峠の歴史	30	グループごとに研究成果を発表する	
	13	大手鉄道会社のトップメッセージを読み解く	31	グループごとに研究成果を発表する	
	14	大手鉄道会社のトップメッセージを読み解く	32	グループごとに研究成果を発表する	
	15	大手鉄道会社のトップメッセージを読み解く	33	発表に関する講評	
	16	大手鉄道会社のトップメッセージを読み解く	34	研究に関する気づきや分析を、レポートで提出(全員提出)	
	17	大手鉄道会社のトップメッセージを読み解く	35		
18	大手鉄道会社のトップメッセージを読み解く	36			
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	口頭試問、レポート提出	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	50%	成績評価	出席率70%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	京王電鉄で駅掛員、車掌、運転士を経験。実務経験に基づいた指導を行います。				

シラバス

科目名	ゼロから学ぶ接客手話 I		担当者名	奥山 栄美	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	①聴覚障がいについて理解する。 ②手話の基本を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。簡単な自己紹介・会話の取得。 NPO法人 手話技能検定試験4級合格を目指す。				
授業概要	聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。 簡単な自己紹介・日常会話の実技。 聴覚障がいゲスト講師との交流。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス・導入	19	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)	
	2	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)	20	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)	
	3	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)	21	時制(1日・1週間の生活)/都道府県名	
	4	手話の基本(指文字・名前・学校名・好き/嫌い)	22	時制(四季・1年の生活)/都道府県名	
	5	手話の基本(数の表現・疑問詞の使い方)	23	聴覚障がいと福祉制度/接遇手話の簡単な例文練習	
	6	自己紹介(住所・出身地・県名・国名 含む)	24	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習	
	7	自己紹介(人物・家族の表現)	25	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて	
	8	自己紹介(誕生日・数字・時の表現)	26	聴覚障がいの特性理解・先週の感想等の共有	
	9	自己紹介(趣味の表現)	27	後期の復習/ 動画:聞こえない学生の日常生活を視聴して	
	10	自己紹介(職業などの表現)	28	後期の復習/ 動画の読み取り:色々な聞こえない方の自己紹介	
	11	夏休み前 自己紹介の総復習・質疑応答	29	後期の復習/手話ソング(X'masソング)	
	12	夏休み前 自己紹介の総復習・表出の小テスト	30	時節の手話(お正月に関する単語・例文)	
	13	夏休み前 自己紹介の総復習・読み取りの小テスト	31	動画の読み取り(手話検定に出題されやすい例文)	
	14	前期の復習 指文字・自己紹介	32	1年間の総復習(試験対策表出練習)	
	15	前期末試験前の総復習・質疑応答	33	学年末試験(表出試験)	
	16	前期末試験(自己紹介の表出試験)	34	学年末試験(読み取り/筆記試験)	
	17	前期末試験(読み取り/筆記試験)	35	試験の返却/解説・1年間の総まとめ	
	18	試験の返却/解説(前期の振り返り)	36	1年間の授業を振り返って・手話ゲーム	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	使用教材:「豊かなコミュニケーション」 (NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会 発行) 出席率80%以上 S…90~100点 A…80~89点 B…70~79点 C… 60~69点 D…59点以下不合格	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	手話通訳士として、講義・講演会・会議・その他生活一般での手話通訳活動や手話指導を通して、日々の研鑽、経験を授業に活かすことを旨としている。				

シラバス

科目名	世界のニュースもわかる時事問題 I		担当者名	木花 章智	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	時事問題を理解するための基礎力を養います。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	初年度は、政治問題や経済問題を理解するために不可欠な基本的な知識の獲得を目指します。そのために、まず、基本的な制度に注目し、政治や経済がどのような制度やルールの下で展開しているかを学習します。さらに、現在の制度やルールが、どのような歴史的背景の下で作られてきたかを確認することで、現在の諸問題を、歴史的な観点からも理解できるようになることを目指します。				
授業概要	今年から、時事の授業も対面授業に戻ります。授業では、テキストのほか、さまざまな映像資料も使いながら学習していきます。特に、日本の現状を、海外の国々との比較を通して確認していきたいと思えます。前期では主に国内の問題について学習し、後期では国際問題について学習していく予定です。				
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1	ガイダンス	19	国際連合	
	2	日本の政治制度①	20	EU(欧州連合)	
	3	日本の政治制度②	21	NATO(北大西洋条約機構)	
	4	日本の安全保障政策	22	ウクライナ戦争①	
	5	2023年度の国家予算	23	ウクライナ戦争②	
	6	日本の金融緩和政策①	24	中国の台頭と米中対立	
	7	日本の金融緩和政策②	25	中国の「一帯一路構想」	
	8	日本の人口動態	26	中国と台湾	
	9	少子高齢化問題	27	香港問題	
	10	日本の社会保障制度	28	北朝鮮問題①	
	11	日本の労働政策	29	北朝鮮問題②	
	12	外国人労働者問題	30	日韓関係	
	13	男女平等ランキング	31	日本の領土問題	
	14	LGBTQ	32	パレスチナ問題	
	15	選択的夫婦別姓問題	33	ミャンマー(ビルマ)の軍事政権	
	16	地球環境問題	34	核軍縮の歴史	
	17	SDGs	35	核兵器禁止条約	
	18	再生可能エネルギー	36	総復習	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	成績評価	出席、定期試験、課題提出によって評価します。
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	20%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80 R<<実働実践型学習>>70 A<<主体的参加型学習>>70 G<<海外体感型学習>>80				
講師プロフィール	専門は政治学です。特に近代西欧政治思想史を研究しています。現在の日本が抱える問題について、若いみなさんと大いに議論したいと思えます。よろしくお願ひします。				

シラバス

科目名	観光・旅行にかかわる基礎英語力を養う観光英語 I		担当者名	松井 佳子	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	自信をもって海外旅行、国内で英語を使えるようする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	観光英検3級取得				
授業概要	観光英検は英語力に加え、国外・国内の地理知識も必須です。海外旅行に必要な単語・文章を、リスニング、リーディング、スピーキングの角度から学んでいきます。				
授 業 計 画 表	授 業 内 容			授 業 内 容	
	1	授業目標、内容、観光英検、小テスト、課題、成績のつけ方の説明	19	3級単語テスト Reading & Listening section	
	2	Travel	20	観光英検テスト終了後、 Listening & 会話を重視した内容とする	
	3	小テスト 観光業界の様々な職業を学ぶ	21	小テスト Immigration customs	
	4	小テスト Airline counter での check in Flight attendantの仕事	22	小テスト San Franciscoをめぐる	
	5	小テスト Immigration Customs	23	小テスト 食事の注文	
	6	小テスト 到着時の空港routine Take a bus from the airport	24	小テスト At the fast food	
	7	小テスト Hotel Check in B&B	25	小テスト お土産を選ぶ	
	8	小テスト Breakfast	26	小テスト 靴屋での会話	
	9	小テスト Money exchange Tourを申し込む	27	小テスト 道案内	
	10	小テスト Shopping Souvenirs and omivage	28	小テスト getting to a Hotel	
	11	小テスト Train Bus Plane Buy a ticket	29	小テスト 公共交通機関	
	12	小テスト Baggage missing Problems in the hotel room	30	小テスト 電車の切符を買う	
	13	小テスト 世界の首都 観光名所	31	Hotel reservation	
	14	お祭り 伝統的なものや文化の英語表現	32	小テスト Hotel service	
	15	3級単語テスト Reading & Listening section	33	小テスト Lost baggage 機内放送	
	16	3級単語テスト Reading & Listening section	34	学年末テストに向けての確認作業	
	17	前期のまとめ	35		
18	3級単語テスト Reading & Listening section	36	成績発表 1年の総復習		
成績割合	テスト	試験科目数(7/7) 全25点	学習FB方法	前期、後期 成績表を配布	
	学習態度・出席率	100%			
	レポート	10/10 試験科目 合計25点	成績評価	出席率80%以上 S90点-100点 A89-80点 B70点-79点 C60点-69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>80% R<実働実践型学習>80% A<主体的参加型学習>80% G<海外体感型学習>80%				
講師プロフィール	日本航空国際客室乗員部7年勤務 本校にて講師 16年				

シラバス

科目名	自分の殻を破って身につける自己表現力(ナレーション)		担当者名	桜田 ゆみ	
学 科	鉄道交通科		授業方法	実習	
認定単位	2単位	開講期		授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	シアターエドゥケーション(舞台表現学)、エンターテインメント作品の創作を通して、プレゼンテーションの強化を行う。プロジェクトを成功に導く力、協調性、話す力、伝える力の向上と、国際社会で活躍できる柔軟で魅力的な人材を育成する。これらのカリキュラムは企業の個人面接やグループ面接において、自己PRとスピーチの強化に繋がる。授業内では個々の魅力を最大限に発揮させ、自己肯定感を高めながら苦手を克服、得意分野を未知数に伸ばす。				
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	周囲を思いやる行動と、美しく朗らかな発想と発言を心がけ、自発的にオリジナル企画を創造し、チームで協力しながら取り組む実行力を強化する。プロジェクトの成功に大切な事柄を自ら探究し、指導力と責任感と和みの精神バランスを鍛える。描く夢と未来図、広い世界観、強い好奇心、自国と自分への誇りを持ち、世界中の人々と共に輝く魅力的な人物を目指す。				
授業概要	年2回のオリジナル舞台発表(またはオリジナルイベント制作)を行う。 日本と海外におけるエンターテインメントの制作現場と、成り立ち、脚本の構成、スタッフ、俳優(演者)の役割と技術を学び、自分たちの総合舞台芸術(演劇、ミュージカルなど)の企画と発表までの一連を実体験する。最終目標実現への道のり、アクシデントへの対応、備えとシミュレーション、自身とチーム、お客様(相手方)の喜びと感謝と発展に導く力を養う。授業では枠にとらわれず自由な発想を持って挑戦し、伝えたいこと、表現したいことに全力で取り組み、特技と個性を生かす。役立てる。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	4月:自己紹介、スピーチ、フリートーク 演技基礎①	19	10月:前期舞台発表後のアンケートまとめ/舞台衣裳・道具の片付け、整理整頓 後期舞台発表のミーティング	
	2	4月:自己紹介、スピーチ、フリートーク 演技基礎②	20	10月:後期舞台発表のミーティング(演目) 演技マスター①	
	3	5月:※補講、または休講の予定	21	10月:後期舞台発表のミーティング(役職・配役) 演技マスター②	
	4	5月:※オンライン・リモート授業の予定 スピーチ、フリートーク/前期の舞台制作ミーティング(演目)/演技基礎③	22	11月:演技マスター③ 舞台リハーサル	
	5	5月:スピーチ、フリートーク/前期の舞台制作ミーティング(演目・役職) 演技基礎④	23	11月:演技マスター④ 舞台リハーサル	
	6	5月:スピーチ、フリートーク/舞台・台本制作(配役) 演技基礎⑤	24	11月:演技マスター⑤ 舞台リハーサル	
	7	6月:スピーチ、フリートーク 演技応用①/舞台リハーサル	25	11月:演技マスター⑥ 舞台リハーサル	
	8	6月:スピーチ、フリートーク 演技応用②/舞台リハーサル	26	11月:演技マスター⑦ 舞台リハーサル	
	9	6月:スピーチ、フリートーク 演技応用③/舞台リハーサル	27	12月:ヘアメイク・衣裳・道具・照明・音響・映像・広報ミーティング 舞台リハーサル	
	10	6月:スピーチ、フリートーク 演技応用④/舞台リハーサル	28	12月:年内のクラス内中間発表・候補日 衣裳・道具類の整理整頓	
	11	7月:ヘアメイク、衣裳、道具、照明、音響、映像、広報 ミーティング 舞台リハーサル	29	12月:年内のクラス内中間発表・候補日 衣裳・道具類の整理整頓	
	12	7月:ヘアメイク、衣裳、道具、照明、音響、映像、広報 ミーティング 舞台リハーサル(通し)	30	1月:舞台総合リハーサル	
	13	7月:夏休み前のクラス内、中間発表 衣裳・道具類の片づけ、整理整頓	31	1月:舞台総合リハーサル	
	14	9月:舞台総合リハーサル①	32	1月:舞台総合リハーサル	
	15	9月:舞台総合リハーサル②	33	1月:舞台総合リハーサルG.P.	
	16	9月:舞台総合リハーサル③G.P.	34	2月:後期舞台本番・候補日(期末試験)	
	17	9月:前期舞台発表・本番の候補日(期末試験)	35	2月:後期舞台本番・候補日(期末試験) 振り返り・まとめ	
18	10月:前期舞台発表・本番の候補日(期末試験)	36	2月:後期舞台本番・候補日(期末試験) 振り返り・まとめ		
成績割合	テスト	45%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	45%			
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>100% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール	舞台演出家、劇作家、脚本家、放送作家、ソプラノ歌手、国際文化外交アーティスト、スペイン演劇・スペイン音楽翻訳家。 武蔵野音楽大学声楽科卒業、スペイン国立マドリッド声楽高等音楽院修了。				

シラバス

科目名	接客・接遇力向上ホスピタリティ研究		担当者名	池亀 満枝	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	人間心理、人間関係を大切さを学び、自分自身を見つめ直す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	より良い人間関係を築き、社会人として活躍するために、コミュニケーション能力を向上させる。				
授業概要	人間心理の知識、より良い人間関係を築くためのコミュニケーション能力の習得、社会人として活躍するための準備を座学形式で行う。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス	19	謙譲語 I、謙譲語 II	
	2	ホスピタリティとは、サービスとホスピタリティ	20	使い分け・誤用	
	3	マズローの欲求段階説	21	相手に配慮して伝える(依頼、断りの丁寧な伝え方)	
	4	顧客満足とホスピタリティ	22	相手に配慮して伝える(お詫びの丁寧な伝え方)	
	5	ジョハリの窓	23	違和感を与える表現・信頼感を損ねる口癖	
	6	ストローク	24	好感の持てる話し方	
	7	メラビアンの法則	25	感じの良い聴き方	
	8	人間関係の基本、明るい挨拶・さわやかな返事	26	会話を弾ませるテーマ選び	
	9	挨拶ことば	27	マナーとエチケットの違い、礼儀作法の意味、プロトコールとは	
	10	おしゃれと身だしなみの違い、制服の効果	28	冠婚葬祭とは、冠婚葬祭の意味と行事	
	11	身だしなみワークシート	29	慶事のマナー	
	12	いきいきとした豊かな表情、表情訓練	30	慶事のマナー	
	13	目から入る言葉＝態度	31	祝儀・不祝儀袋	
	14	立ち居振る舞い、基本動作、応用動作	32	弔事のマナー	
	15	敬語の種類	33	食事のマナー	
	16	丁寧語・美化語・改まり語	34	試験	
	17	試験	35	試験解説	
18	尊敬語	36	まとめ		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	課題、レポート	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	10%	成績評価	S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80 R<<実働実践型学習>>10 A<<主体的参加型学習>>10 G<<海外体感型学習>>0				
講師プロフィール	文部科学省、国土交通省、政府関係機関等にて役職者の秘書を長年務めた経験から現在に至る。				

シラバス

科目名	わかりやすく伝わる話し方		担当者名	古閑 三恵	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	「言葉つかい」は「心つかい」 話し上手である必要はありません。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	接客業に必要な聞き取りやすい声を作る。 人前で話す事が楽しくなるように。 正しい口の開け方(姿勢・癖のチェック) お腹からの力強い声 腹式呼吸 発声練習 テーマでの発表 敬語で美しい日本語を話せるように 詩、台本を読んで自分を自由に表現する、自分を解放する。 スピーチ原稿の構成の仕方				
授業 計画 表	授業内容		授業内容		
	1	①自己紹介(出身地・今まで頑張ってきた事、特技・目指す仕事) ※自己紹介レポート1枚提出 ②授業の進め方・注意点	19	①「人を動かすスピーチ」ステイプジョブズなど紹介 ②パワースピーチについて	
	2	① ストレッチ ② 複式呼吸 ③50音発声練習	20	①スピーチ「新聞を買って読んで、気になった記事について発表」 ※レポート提出	
	3	課題提出	21	①スピーチ「新聞を買って読んで、気になった記事について発表」 ※レポート提出	
	4	① ストレッチ ②腹式呼吸 ③50音発声練習 ④スピーチ文章の組み立て方 ※スピーチ前の注意点	22	①アナウンス原稿 を読む	
	5	①スピーチ「好きな映画について」良いところ癖などをチェック※スピーチ原稿提出	23	①「新聞を買って読んで、気になった記事について発表」 ※レポート提出	
	6	①スピーチ「好きな映画について」 ※スピーチ原稿提出	24	①「新聞を買って読んで、気になった記事について発表」※レポート提出	
	7	①スピーチ「好きな映画について」 ※スピーチ原稿提出	25	① 基本敬語	
	8	①発声練習 ②他己紹介	26	①敬語テスト	
	9	①発声練習 ②他己紹介	27	①就活に向けて自己PR練習	
	10	①スピーチ「今まで旅した中でおすすめの場所」について ※スピーチ原稿提出	28	①自己PR 面接の練習	
	11	①スピーチ「今まで旅した中でおすすめの場所」について ※スピーチ原稿提出	29	①自己PR 面接の練習	
	12	スピーチ「今まで旅した中でおすすめの場所」について ※スピーチ原稿提出	30	①「今まで生きてきた中で大切にしてきた事・人・物・言葉」 ※レポート提出	
	13	①朗読劇 広島・長崎「この子たちの夏」を読む ※夏休み宿題 美術館に行く	31	①「今まで生きてきた中で大切にしてきた事・人・物・言葉」 ※レポート提出	
	14	①発声練習 ②美術館発表 ※レポート提出	32	①「今まで生きてきた中で大切にしてきた事・人・物・言葉」 ※レポート提出	
	15	①美術館発表 ※レポート提出	33	①「今まで生きてきた中で大切にしてきた事・人・物・言葉」 ※レポート提出	
	16	①美術館発表 ※レポート提出 期末試験	34	まとめ 最後に伝えたい事	
	17	①美術館発表 ※レポート提出	35	発表予備	
18	「自分が一番ワクワクする事」について 1分間スピーチ	36	発表予備		
成績割合	テスト	スピーチ 40%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100 A80~89 B70~79 C60~69 D59点以下不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>30% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>40% G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	俳優 熊本県出身。劇団四季附属演劇研究卒業後、作家井上ひさしの劇団「こまつ座」、演出家木村光一の「地人会」の舞台で全国・海外公演。現在は事務所に所属し、活動している。 RKKラジオ「古閑三恵の今は昔」パーソナリティー。三池崇史監督・映画「女国衆一揆」主演。他ナレーション・CM・TV。				

シラバス

科目名	鉄道のしくみ、ルール手順から学ぶ鉄道基礎		担当者名	濱崎 勝明	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	36時間
授業目的	鉄道会社で勤めるうえで必要な知識を学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	趣味の鉄道知識と業務の鉄道知識の違いを知る				
授業概要	鉄道法規 鉄道の分類 鉄道の長所と短所 運転取扱実施基準 信号と閉そく 動力別の分類とブレーキ装置				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	鉄道の長所と短所	
	2	オリエンテーション	20	鉄道の長所と短所	
	3	運転安全規範と安全綱領	21	鉄道車両の分類	
	4	運転の安全の確保に関する省令・一般準則	22	鉄道車両の動力別の分類	
	5	鉄道員としての基本	23	電気車の種類	
	6	信号・合図・標識	24	減速装置	
	7	運転取扱実施基準 係員とは	25	粘着ブレーキの種類	
	8	列車と車両 停車場外の本線の運転	26	非粘着ブレーキの種類	
	9	運転時刻と停止位置	27	鉄道のダイヤ	
	10	退行運転と推進運転	28	運行計画とその重要性	
	11	閉そく	29	線路	
	12	代用閉そく	30	電路	
	13	鉄道事業者の分類	31	車体・台車	
	14	軌間の種類 改軌	32	鉄道員としての心構え	
	15	鉄道の電化方式	33	振り回り	
	16	交流電化のメリット・デメリット	34	おさらいとまとめ	
	17	直流区間と交流区間	35	期末テスト	
	18	鉄道の概況	36	1年の振り回り	
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績表	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>70% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	コンサルタント 鉄道会社、ホテル、車両部品メーカーの技術開発に従事 2015年、JETROシンガポールにて新幹線プロジェクトに参加				

シラバス

科目名	ゼロからはじめるパソコン実習		担当者名	千葉 輝子	
学 科	鉄道交通科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	PC及びWordの基本操作、タイピング力を身に付ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネス文書を効率良く作成できるようになることを目標とし、日商PC検定 文書作成3級に合格相当のスキルを身に付ける。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎授業、タイピング練習の実施(各自目標を設定する) ・ビジネス文書及びビジネスメールの書き方(ルールの理解) ・検定試験の問題を課題に取り入れることにより、既存の文書の編集力も身に付ける ・定期試験に、実技だけでなく知識(ビジネス用語)も取り入れ、一般常識も身に付ける 				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス	19	図の挿入/図形の描画	
	2	ガイダンス	20	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	3	ガイダンス	21	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	4	科目ガイダンス 各自のPC環境整備	22	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	5	Windowsの基本操作/タイピング練習 文字入力の基本	23	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	6	文字入力の基本	24	日商PC検定文書作成検定 試験問題1	
	7	ビジネス文書の書き方(ルールの説明)	25	日商PC検定文書作成検定 試験問題2	
	8	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	26	日商PC検定文書作成検定 試験問題3	
	9	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	27	日商PC検定文書作成検定 試験問題4	
	10	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	28	日商PC検定文書作成検定 試験問題5	
	11	表作成の基本	29	日商PC検定文書作成検定 模擬問題1	
	12	ビジネス文書課題(表のある文書)	30	日商PC検定文書作成検定 模擬問題2	
	13	ビジネス文書課題(表のある文書)	31	後期復習問題	
	14	ビジネス文書課題(表のある文書)	32	期末試験	
	15	ビジネス文書課題(表のある文書)	33	期末試験の解答解説及び後期振り返り	
	16	ビジネス文書課題(表のある文書)	34	ガイダンス	
	17	前期期末試験	35	ガイダンス	
18	前期期末試験の解答解説	36	ガイダンス		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	正しい日本語の使い方Ⅱ		担当者名	古閑 三恵	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	自己表現 クラス 自分を解放する。柔軟な心。 自分で考え、伝える力をつける。 就活の面接対策。 想像力、表現力を鍛える。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	力強く、聞き取りやすい声を作る。 想像力を鍛えることで、相手を思いやれる話し方ができるように。 詩の朗読劇、芝居を作ることで、協調性、チームワークを学ぶ。 模擬面接で、就職試験合格を目指す。				
授業概要	正しい発声法 模擬面接 就活対策。 詩の朗読、お芝居を通して想像する力、チームワークを学ぶ。 敬語 美しい日本語 相手を思いやれる話し方。 テーマでスピーチ。レポート提出 文章力。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	授業の進め方 春休み中の出来事 全員スピーチ	19	テーマでスピーチ	
	2	発声練習 就活にむけて1分間スピーチ 全員。	20	テーマでスピーチ	
	3	課題提出 30分間 自分が授業をするとしたら(講義型、 実践型、自由に)レポート提出。数名に後日実際に やってみよう。	21	テクノス祭前日 紙芝居をグループに分かれて、読んでみる。自由に。	
	4	模擬面接 生徒数名を試験官にし、やってみる。	22	テクノス祭を振り返る。	
	5	模擬面接 生徒数名を試験官にし、やってみる。	23	課題提出をもとに、30分生徒授業	
	6	課題提出をもとに、生徒の30分授業	24	課題提出をもとに、30分生徒授業	
	7	課題提出をもとに、生徒の30分授業	25	朗読劇の練習	
	8	写真を使って、その人物を想像してみる。	26	人を動かすスピーチ 著名人のスピーチを紹介する。それを聴いてどう感じたか	
	9	写真を使って、その人物を想像する。	27	テーマでスピーチ	
	10	敬語の復習	28	テーマでスピーチ	
	11	表現力を鍛える チームワーク 短いお芝居を作ってみよう	29	テーマでスピーチ	
	12	表現力を鍛える チームワーク 短いお芝居を作ってみよう	30	朗読劇 発表会練習	
	13	台本を使って朗読劇 発表会に向けて。	31	朗読劇 発表会練習	
	14	体を動かす、声を出す。リズムを楽しむ。 夏休みの出来事について、数名スピーチ。	32	朗読劇 発表会練習	
	15	朗読劇の練習 発表に向けて	33	朗読劇発表会 担任の先生をお招きして	
	16	前期試験 1分間スピーチ	34	朗読劇 振り返り 感想	
	17	敬語のテスト	35	卒業にあたって。	
18	テーマでスピーチ	36	予備		
成績割合	テスト	スピーチ 小 テスト 40%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100 A80~89 B70~79 C60~69 D59点以下不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	俳優 熊本県出身。劇団四季附属演劇研究所卒業後、作家井上ひさしの劇団「こまつ座」、演出家木村光一の「地人会」の舞台で全国・海外公演。現在は事務所に所属し活動している。RKKラジオ「古閑三恵の今は昔」パーソナリティ。三池崇史監督・映画「女国衆一揆」主演。他ナレーション・CM・TV。大手プロダクション演技指導。				

シラバス

科目名	身近に感じる異文化コミュニケーションⅡ		担当者名	富手 貴子	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	1. 異なる文化的背景や価値観を持つ他者を知り、異文化への興味・関心を広げ、多様な背景を持つ人々と良好なコミュニケーションを図るための能力やスキル、寛容な態度を養う。2. 国際社会や国際ビジネス、訪日外国人に目を向け、これからの多文化共生社会における専門的職業人としての素養と自覚を高める。3. 自分自身がこれまで意識していなかった文化や価値観を意識化、また相対化し、自文化や自己のアイデンティティを高めるとともに、自己表現を通じて、社会的な自立に向けたコミュニケーション能力を養成				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1. 異文化や国際社会に興味・関心をもって、寛容な心と態度で柔軟に対応するとともに、自分の意見を発信できるコミュニケーション力を身につけている。2. 異文化コミュニケーションや訪日外国客接遇の基礎的な知識を習得し、それらの意義を理解し、自身のキャリアへの活かし方を考えることができる。3. 他者や他文化を知ることを通して、自己や自文化を見つめ直し、新たな価値観と拡大した視野を得て、今後の人生において自分が社会にどのように貢献できるかを考えることができる。				
授業概要	1. 国家間や人種の違いだけでなく世代や立場の違いなどを文化差と捉え、異文化摩擦の原因や対処法の理論を理解するのみならず、体験的に身に付けていくことができるように、具体的な異文化接触場面の事例を取り上げ、ディスカッションやアクティビティなどの活動を行う。この活動の過程で、異文化トレーニングの手法や、効果的なコミュニケーションの方法を学び、実践する。2. 国際的な話題(国内外の動向や社会問題、経済やビジネス、旅行・観光やポップカルチャーなど)に幅広く触れ、国際的なコミュニケーション文化を知るとともに、国際社会や国際ビジネス、訪日外国人への興味・関心を高める。3. 外客接遇の基礎知識を一部に取り入れ、職業観の醸成と、就職後のより満足度の高い接遇につなげる。				
授業 計画 表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	訪日外国人旅行者接遇の基礎②	
	2	オリエンテーション②	20	訪日外国人旅行者接遇の基礎③	
	3	異文化コミュニケーションとは①	21	異文化コミュニケーション・トレーニング①	
	4	異文化コミュニケーションとは②	22	異文化コミュニケーション・トレーニング②	
	5	異文化コミュニケーションとは③	23	アイデンティティ①	
	6	異文化コミュニケーションとは④	24	アイデンティティ②	
	7	コミュニケーション・スタイル①	25	グローバル・コミュニケーション①	
	8	コミュニケーション・スタイル②	26	グローバル・コミュニケーション②	
	9	ものの見方を広げる①	27	多文化共生ワーク②	
	10	ものの見方を広げる②	28	国民文化①	
	11	異文化コミュニケーション・スキル①	29	国民文化②	
	12	異文化コミュニケーション・スキル②	30	国民文化③	
	13	多文化共生ワーク①	31	日本の話題・世界の話題①	
	14	言語・非言語コミュニケーション①	32	日本の話題・世界の話題②	
	15	言語・非言語コミュニケーション②	33	日本の話題・世界の話題③	
	16	発表準備	34	まとめ	
	17	発表&フィードバック	35	期末試験	
18	訪日外国人旅行者接遇の基礎①	36	振り返り		
成績割合	テスト	40(テスト・小テスト・発表案)	学習FB方法	成績評価	授業への出席、ワークやアクティビティの参加度、態度、提出物、テスト、小テスト、発表等で総合的に評価する。
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30(レポート・振り返り等・提出物)			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20 R<<実働実践型学習>>0 A<<主体的参加型学習>>50 G<<海外体感型学習>>80				
講師プロフィール	前職ではグローバルIT企業のコーポレート戦略統括本部にてインターナル・コミュニケーション、前々職では大手日系IT企業にて全社グローバル人材育成施策の企画・運営、研修設計・開発を担当。 20代前半から海外に計15年間滞在。オーストラリアではツアーガイドとしてトップセールス、カナダでは現地ホテル勤務の傍らで、日系企業の現地新規事業企画・立ち上げを単独で行う。				

シラバス

科目名	鉄道ビジネス入門		担当者名	濱崎 勝明	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	鉄道会社が積み重ねてきた歴史や文化、取り組みなどを通じて、就職に必要な企業情報を読み解く				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道会社の仕組みや運営を分析・評価する能力を磨く ・各鉄道会社が発信している情報から、中長期のビジョンを読み解く ・各社の歴史、過去の取り組みから鉄道会社ごとの特色や強みを発見する 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道各社のトップメッセージを読む ・分析結果を元に、大手鉄道会社各社の戦略を会社別に比較 ・街道から鉄道輸送へ、鉄道から高速鉄道への技術の進化、人の生活環境の変化を読み解く ・人の生活に寄り添う鉄道の魅力や、あるべき姿について学ぶ 				
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1		19	会社ごとに研究するグループを分け、役割を決める	
	2		20	各鉄道会社のビジョンや戦略を、短い文章にまとめる	
	3		21	各鉄道会社のビジョンや戦略を、短い文章にまとめる	
	4	街道から鉄道へ	22	各鉄道会社のビジョンや戦略を、比較検討表にまとめる	
	5	鉄道輸送から高速鉄道へ	23	各鉄道会社のビジョンや戦略を、比較検討表にまとめる	
	6	高速鉄道からリニアへ	24	グループごとに概要を発表し、フィードバック	
	7	IC乗車券の仕組み	25	グループごとに概要を発表し、フィードバック	
	8	列車の所要時間の比較	26	意見の根拠になる情報を精査し、研究対象ごとにまとめる	
	9	貨物列車の衰退はなぜ起きたのか	27	数値の裏付けについて検証する	
	10	定期旅客と定期外旅客を輸送量と収入で比較する	28	最終案を仮発表し、フィードバックを行う	
	11	旅の始まりとグランツーリズム	29	最終案を仮発表し、フィードバックを行う	
	12	碓氷峠の歴史	30	グループごとに研究成果を発表する	
	13	大手鉄道会社のトップメッセージを読み解く	31	グループごとに研究成果を発表する	
	14	大手鉄道会社のトップメッセージを読み解く	32	グループごとに研究成果を発表する	
	15	大手鉄道会社のトップメッセージを読み解く	33	発表に関する講評	
	16	大手鉄道会社のトップメッセージを読み解く	34	研究に関する気づきや分析を、レポートで提出(全員提出)	
	17	大手鉄道会社のトップメッセージを読み解く	35		
18	大手鉄道会社のトップメッセージを読み解く	36			
成 績 割 合	テスト	30%	学習FB方法	口頭試問、レポート提出	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	50%	成績評価	出席率70%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	コンサルタント 鉄道会社、ホテル、車両部品メーカーの技術開発などに従事 2015年、JETROシンガポールにて新幹線プロジェクトに参加 元小田急電鉄運転士/新規事業開発・ライセンス管理担当/鉄道グッズ開発担当を経て現職				

シラバス

科目名	旅と鉄道Ⅱ		担当者名	濱崎 勝明	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	地域創生の取組を研究し、ケース別に成功要因を分析する				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<ul style="list-style-type: none"> ・成功事例を自ら探す積極性を伸ばす ・仮説構築力と、正確な情報ソースに基づいた検証 ・テーマを深掘りし、提案力を磨く 				
授業概要	国内における地域創生の成功事例をグループに分かれて研究する <ul style="list-style-type: none"> ・一つのプレゼンテーションを繰り返しブラッシュアップすることで、自身が取り組むテーマへの理解を深める ・提案内容繰り返し精査するとともに、グループで協力しながら信頼性の高いデータを生徒自身が探し出して照合し、説得力の高い提案をまとめる 				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業方針の説明	19	グループごとに提案を発表し、質疑応答(グループ1組ずつ実施)	
	2	グループ作成	20	グループごとに提案を発表し、質疑応答(グループ1組ずつ実施)	
	3	リーダーと役割の決定	21	グループごとに調査結果を発表し、質疑応答(グループ1組ずつ実施)	
	4	グループ別に、国内の成功事例を探す	22	調査結果におけるポジティブな反省点を検証・共有	
	5	グループごとに事例の要点をまとめる	23	提案における視点や気づき、生徒相互に他グループへのフィードバックを行う	
	6	簡単なプレゼンテーションの作成	24	生徒個人別に、通じて気づいたことをレポートで提出	
	7	各グループで概要を発表し、質疑応答(4グループのうち2グループ/1回目)	25		
	8	各グループで概要を発表し、質疑応答(4グループのうち2グループ/1回目)	26	グループで、地域創生の課題を探す	
	9	仮発表をもとに、実際の数値やソースの正確性を検証する	27	地域創生の成功要因を探す	
	10	検証を元に仮発表(4グループ) 情報の信憑性についてのフィードバック	28	課題とする地域をテーマに、地域創生の提案を作成する①	
	11	検証を元に仮発表検証を元に仮発表(4グループ) 情報の信憑性について再度フィードバック	29	課題とする地域をテーマに、地域創生の提案を作成する②	
	12	2回目の仮発表でフィードバックされた、数値の信憑性を精査するその①	30		
	13	2回目の仮発表でフィードバックされた、数値の信憑性を精査するその①	31		
	14	最終発表前の調査・裏付けの確認・プレゼン資料の制作・フィードバック(グループ1組ずつ実施)	32	4グループのうち2グループが発表	
	15	最終発表前の調査・裏付けの確認・プレゼン資料の制作・フィードバック(グループ1組ずつ実施)	33	4グループのうち2グループが発表	
	16	最終発表前の調査・裏付けの確認・プレゼン資料の制作・フィードバック(グループ1組ずつ実施)	34		
	17	最終発表前の調査・裏付けの確認・プレゼン資料の制作・フィードバック(グループ1組ずつ実施)	35		
18	グループごとに提案を発表し、質疑応答(グループ1組ずつ実施)	36			
成績割合	テスト	40%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	40%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>45% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>45% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	コンサルタント 鉄道会社、ホテル、車両部品メーカーの技術開発などに従事 2015年、JETROシンガポールにて新幹線プロジェクトに参加 元小田急電鉄運転士/新規事業開発・ライセンス管理担当/鉄道グッズ開発担当を経て現職				

シラバス

科目名	鉄道史Ⅱ		担当者名	濱崎 勝明	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	鉄道会社が積み重ねてきた歴史や文化、取り組みなどを通じて、就職に必要な企業情報を読み解く				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道会社の仕組みや運営を分析・評価する能力を磨く ・各鉄道会社が発信している情報から、中長期のビジョンを読み解く ・各社の歴史、過去の取り組みから鉄道会社ごとの特色や強みを発見する 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道各社のトップメッセージを読む ・分析結果を元に、大手鉄道会社各社の戦略を会社別に比較 ・街道から鉄道輸送へ、鉄道から高速鉄道への技術の進化、人の生活環境の変化を読み解く ・人の生活に寄り添う鉄道の魅力や、あるべき姿について学ぶ 				
授業 計画 表		授業内容		授業内容	
	1		19	会社ごとに研究するグループを分け、役割を決める	
	2		20	各鉄道会社のビジョンや戦略を、短い文章にまとめる	
	3		21	各鉄道会社のビジョンや戦略を、短い文章にまとめる	
	4	街道から鉄道へ	22	各鉄道会社のビジョンや戦略を、比較検討表にまとめる	
	5	鉄道輸送から高速鉄道へ	23	各鉄道会社のビジョンや戦略を、比較検討表にまとめる	
	6	高速鉄道からリニアへ	24	グループごとに概要を発表し、フィードバック	
	7	IC乗車券の仕組み	25	グループごとに概要を発表し、フィードバック	
	8	列車の所要時間の比較	26	意見の根拠になる情報を精査し、研究対象ごとにまとめる	
	9	貨物列車の衰退はなぜ起きたのか	27	数値の裏付けについて検証する	
	10	定期旅客と定期外旅客を輸送量と収入で比較する	28	最終案を仮発表し、フィードバックを行う	
	11	旅の始まりとグランツーリズム	29	最終案を仮発表し、フィードバックを行う	
	12	碓氷峠の歴史	30	グループごとに研究成果を発表する	
	13	大手鉄道会社のトップメッセージを読み解く	31	グループごとに研究成果を発表する	
	14	大手鉄道会社のトップメッセージを読み解く	32	グループごとに研究成果を発表する	
	15	大手鉄道会社のトップメッセージを読み解く	33	発表に関する講評	
	16	大手鉄道会社のトップメッセージを読み解く	34	研究に関する気づきや分析を、レポートで提出(全員提出)	
	17	大手鉄道会社のトップメッセージを読み解く	35		
18	大手鉄道会社のトップメッセージを読み解く	36			
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	口頭試問、レポート提出	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	50%	成績評価	出席率70%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	コンサルタント 鉄道会社、ホテル、車両部品メーカーの技術開発などに従事 2015年、JETROシンガポールにて新幹線プロジェクトに参加 元小田急電鉄運転士/新規事業開発・ライセンス管理担当/鉄道グッズ開発担当を経て現職				

シラバス

科目名	鉄道運転論Ⅱ		担当者名	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 36時間
授業目的	鉄道の魅力を子供たちに教える先生を目指す。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	鉄道業務をより深く理解し、人に伝わりやすい言葉で伝える。 「子供たちの喜び」というフィードバックを通じ、達成感や責任感を味わう			
授業概要	チームワーク実習 イベント企画 鉄道教室の開催			
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容
	1	昨年度の基礎ゼミの内容を振り返る	19	
	2	チームビルディング1	20	
	3	チームワークを高めるワークショップ	21	
	4	チームワークを高めるワークショップ	22	
	5	提示される課題をイベント企画案にまとめる1	23	
	6	提示される課題をイベント企画案にまとめる2	24	
	7	模擬発表	25	
	8	プレゼンテーションブラッシュアップ	26	
	9	プレゼンテーション本番	27	
	10	鉄道コンテンツを基にしたゲームを考える	28	
	11	鉄道コンテンツを基にしたゲームを考える2	29	
	12	授業として実際に実演する	30	
	13	授業として実際に実演する	31	
	14	ここまでの調べのまとめ	32	
	15	中間発表準備	33	
	16	中間発表練習	34	
	17	中間発表	35	
18	中間発表の振り返り	36		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	成績表送付
	学習態度・出席率	80%		
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S:90~100点 A:80~89点 B:70~79点 C:60~69点 D:59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>20%			
講師プロフィール	コンサルタント 鉄道会社、ホテル、車両部品メーカーの技術開発などに従事 2015年、JETROシンガポールにて新幹線プロジェクトに参加 元小田急電鉄運転士/新規事業開発・ライセンス管理担当/鉄道グッズ開発担当を経て現職			

シラバス

科目名	鉄道サービスⅡ		担当者名	三宮 徳晃	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	近年、鉄道が力を入れているCSについて学ぶ 鉄道会社で勤めるうえで必要な知識を実践して身につける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	鉄道マンひいては社会人としての接客スキルを身につけ、鉄道の業務を体感する				
授業概要					
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	ESとは	
	2	オリエンテーション	20	サービス改善活動の考え方と進め方	
	3	鉄道の業種・現在の鉄道に求められる人材とは	21	JCSI顧客満足度調査について	
	4	鉄道のアナウンスとは	22	鉄道各社の取り組み	
	5	アナウンス実践	23	他者との関わり方(ストローク)	
	6	異常時のアナウンス	24	お客さまの声分析	
	7	鉄道の業務的知識・鉄道に必要な知識	25	クレーム対応の知識	
	8	乗車券の種類(JRグループの場合)	26	クレームとコンプレイン	
	9	大都市近郊区間	27	敬語の学び	
	10	東京近郊の鉄道路線	28	ビジネス用語の学び	
	11	路線図を使用したルート案内実践	29	クレーム対応時の注意点	
	12	時刻表の見方	30	実習ワーク お客さまの声に応える	
	13	ダイヤグラムの見方	31	実習ワーク お客さまの声に応える	
	14	ダイヤ作成	32	実習ワーク お客さまの声に応える	
	15	列車番号の附番方法	33	振り返り	
	16	作業ダイヤと行路 駅係員の業務	34	おさらいとまとめ	
	17	CSとは	35	期末テスト	
18	顧客が求めるCSの要素	36	1年の振り返り		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績表	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>70% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	京王電鉄で駅掛員、車掌、運転士を経験。実務経験に基づいた指導を行います。				

シラバス

科目名	鉄道時事Ⅱ		担当者名	濱崎 勝明	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	日々変化する鉄道業界、新しいニュースから事故などの話題をしっかりとキャッチして、幅広い視野で鉄道業界を見据えるとともに、就職活動での企業研究も行います。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	毎日、ニュースや新聞、ネット等で情報を見る習慣をつけ、その情報をアウトプットできるようにする・				
授業概要	学生に気になったニュース、出来事があるかを常にを問ひかけ、その話題についてディスカッションをし、課題解決力を身に着ける。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	授業の進め方	19	西九州新幹線開業関連記事から	
	2	最近の鉄道のニュースを見つける	20	西九州新幹線開業関連記事から	
	3	鉄道150周年のニュース記事から考える	21	鉄道の日関連記事から	
	4	鉄道150周年のニュース記事から考える	22	鉄道の日関連記事から	
	5	交通新聞記事から考える	23	交通新聞記事から考える	
	6	鉄道事業者のニュースリリースから考える	24	鉄道事業者のニュースリリースから考える	
	7	交通新聞記事から考える	25	交通新聞記事から考える	
	8	鉄道事業者のニュースリリースから考える	26	ダイヤ改正関連記事から考える	
	9	交通新聞記事から考える	27	ダイヤ改正関連記事から考える	
	10	鉄道事業者のニュースリリースから考える	28	ダイヤ改正関連記事から考える	
	11	交通新聞記事から考える	29	交通新聞記事から考える	
	12	鉄道事業者のニュースリリースから考える	30	鉄道事業者のニュースリリースから考える	
	13	交通新聞記事から考える	31	交通新聞記事から考える	
	14	鉄道事業者のニュースリリースから考える	32	後期授業の振り返り	
	15	交通新聞記事から考える	33	期末テスト範囲等を伝える	
	16	前期授業の振り返り	34	後期期末テスト	
	17	中間試験	35	期末テスト返却、フォロー	
18	中間試験の戻し、フィードバック	36	1年間の出来事振り返り		
成績割合	テスト	70	学習FB方法	成績表による	
	学習態度・出席率	30			
	レポート		成績評価	出席率80%以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50 R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>40 G<<海外体感型学習>>10				
講師プロフィール	名古屋市交通局・富士急行の2者局で駅務、車掌、運転士、指導運転士、助役を経験。実務経験に基づいた指導に務めます。				

シラバス

科目名	SPI対策Ⅱ		担当者名	奥村 大介	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	採用試験・SPI等を解くために必要な数学の素養を養成する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	採用試験・SPI等における一般常識テスト(数学・非言語分野)が十分に解答できる力を身につける。				
授業概要	数学の知識を、一旦理解できたというだけでなく、「いつでも使える能力」として身についた状態にするために、教科書に即して解説を行なうことに加え、独自教材による演習問題を設定し、各履修者が自分の頭と手を使って、何度も繰り返して解くことを習慣づける。演習問題は授業内で行なうものと、各自が解答し、翌授業までに提出するものを設ける。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	計算練習と基礎確認	19	資料の読解(4)	
	2	計算の工夫	20	推論(1)	
	3	料金の計算(1)	21	推論(2)	
	4	料金の計算(2)	22	推論(3)	
	5	料金の計算(3)	23	推論(4)	
	6	割合と比(1)	24	数列(1)	
	7	割合と比(2)	25	数列(2)	
	8	速度算(1)	26	n進法(1)	
	9	速度算(2)	27	n進法(2)	
	10	速度算(3)	28	図形(1)	
	11	濃度算	29	図形(2)	
	12	順列・組み合わせ(1)	30	図形(3)	
	13	順列・組み合わせ(2)	31	図形(4)	
	14	確率(1)	32	集合(1)	
	15	確率(2)	33	集合(2)	
	16	資料の読解(1)	34	集合(3)	
	17	資料の読解(2)	35	総合演習(1)	
18	資料の読解(3)	36	総合演習(2)		
成 績 割 合	テスト	50%	学習FB方法	毎回授業内で課題を実施し、採点の上、翌回の授業で講評・返却を行なう。	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価	*出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格*	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30 R<<実働実践型学習>>20 A<<主体的参加型学習>>50 G<<海外体感型学習>>0				
講師プロフィール	担当教員は科学史・科学論を専攻する研究者であり、当該分野における研究・著述に加え、複数の専門学校・大学での教育歴をもつ。就職試験における一般常識科目数学分野については、本学では平成25年より現在まで、東京工学院専門学校では平成31年より現在まで指導実績がある。				

シラバス

科目名	鉄道英語		担当者名	岡崎 志織	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	鉄道業務に必要な実践的な会話力を身に付ける。トラブルの対応にも英語で応じられるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	特に駅などで接客するうえで、必要な英語表現を学び、それが実践的に使えるようになる。				
授業概要	基本的な表現を確認し、様々な状況を想定しロールプレーなどを行っていく。 また、時刻表を使用し、的確な情報を英語で伝える練習も行う。 Listening力向上も目指す。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業の概要とオリエンテーション Lesson 1	19	Lesson 9	
	2	Lesson 1	20	Lesson 9	
	3	Lesson 2	21	Lesson 10	
	4	Lesson 2	22	Lesson 10	
	5	Lesson 3	23	Lesson 11	
	6	Lesson 3	24	Lesson 11	
	7	Lesson 4	25	Lesson 12	
	8	Lesson 4	26	Lesson 12	
	9	Lesson 5	27	Lesson 13	
	10	Lesson 5	28	Lesson 13	
	11	Lesson 6	29	Lesson 14	
	12	Lesson 6	30	Lesson 14	
	13	Lesson 7	31	Lesson 15	
	14	Lesson 7	32	Lesson 15	
	15	まとめ Review	33	Lesson 16	
	16	前期末試験	34	lesson 16, 学年末試験対策	
	17	Lesson 8	35	学年末試験	
18	Lesson 8	36	学年末試験 解説		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	前期・後期 成績表を配布	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格 但し、相対評価	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 米国にてTESL(英語教員免許)取得 日米の教員免許所有 グローバルな視点からのホスピタリティーに満ちた実践的な英語授業を心がけています。				

シラバス

科目名	鉄道安全Ⅱ		担当者名	濱崎 勝明	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	安全に関する正しい理解を実務を通じて学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	事実に基づいた情報を分析できる能力を磨く 安全について正しい概念、鉄道で使われている専門用語の意味を理解する 実務から事故を分析し、防ぐための手段を議論し、自分の意見を述べる				
授業概要	運輸安全委員会の事故調査報告書を研究する ケース別事例分析 事故を防ぐポイントの研究 当事者、被害者やその家族、鉄道側の担当者など、それぞれの視点に経って事故の影響や悲惨さについて学ぶ				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1		19	運輸安全委員会のレポートを分析	
	2		20	運輸安全委員会のレポートを分析	
	3		21	運輸安全委員会のレポートを分析	
	4	幹線、支線、明治時代の運輸事情	22	運輸安全委員会のレポートを分析	
	5	自動閉塞式の解説	23	三河島事故	
	6	運輸安全委員会のレポートを分析	24	信楽高原鉄道事故	
	7	運輸安全委員会のレポートを分析	25	研究事例を実際にロールプレイで体験	
	8	運輸安全委員会のレポートを分析	26		
	9	運輸安全委員会のレポートを分析	27	グループごとに事故現場の見取り図を作成	
	10	特定の事故に関して、信頼できるニュースと信頼できないニュースを探す	28	グループごとに事故現場の見取り図を作成	
	11	生徒が各自探してきたニュースの正確性、発信元、ソースを分析する	29	鉄道に関する技術上の基準を定める省令の研究	
	12	事故の直接原因になった人の視点で、事故を分析して考える	30	鉄道に関する技術上の基準を定める省令(解釈基準)の研究	
	13	確認とは何か	31		
	14	安全とは何か	32		
	15	尼崎事故	33		
	16	第一種から四種までの踏切 法律や症例での決まりなどについて研究	34		
	17		35		
	18	事故に対する自らの考えをレポート提出	36		
成 績 割 合	テスト	40%	学習FB方法	口頭試問、レポート提出	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	40%	成績評価	出席率70%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	コンサルタント 鉄道会社、ホテル、車両部品メーカーの技術開発に従事 2015年、JETROシンガポールにて新幹線プロジェクトに参加 元小田急電鉄運転士/新規事業開発・ライセンス管理担当/鉄道グッズ開発担当を経て現職				

シラバス

科目名	アンガーマネジメント		担当者名	瀬戸口 仁	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	怒りを味方につけて、仕事や日常生活を豊かなものにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	怒りを味方にすべく、即効性のあるテクニックを5つ、怒りの体質を変えるテクニックを4つマスターする。				
授業概要	怒りというものはどういうものかを理解し、怒りを味方にする9つのテクニック(習慣)をワークを踏まえて身につける。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	アンガーマネジメントとは	19	スケールテクニック	
	2	6秒とは	20	ブレイクパターン	
	3	三重丸とは	21	ブレイクパターン	
	4	分かれ道とは	22	24時間アクトカーム	
	5	カウントバック	23	24時間アクトカーム	
	6	カウントバック	24	怒りのケーススタディ	
	7	呼吸リラクゼーション	25	怒りのケーススタディ	
	8	呼吸リラクゼーション	26	魔法の言葉	
	9	ストップシンキング	27	魔法の言葉	
	10	ストップシンキング	28	魔法の言葉	
	11	グラウンディング	29	正しいゴール(目標)設定の仕方	
	12	グラウンディング	30	正しいゴール(目標)設定の仕方	
	13	タイムアウト	31	人間関係構築力	
	14	タイムアウト	32	人間関係構築力	
	15	アンガーログ	33	間違った叱り方、正しい叱り方	
	16	アンガーログ	34	間違った叱り方、正しい叱り方	
	17	アンガーログ	35	期末試験	
18	スケールテクニック	36	期末試験		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	授業の終わりに質問を受け付ける	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 C60~69 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において十分な教育経験を有し、大学での指導経験も有す。				

シラバス

科目名	ビジネスマナー		担当者名	相川 奏恵	
学 科	鉄道交通科鉄道ビジネス・大学コース(産業能率大学)		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	社会で即戦力となる為にビジネスマナーを身につけ、社会人としての意識の持ち方、顧客満足度を向上させる応対力と仕事のすすめ方を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<ul style="list-style-type: none"> ■就活力を身につける ■ビジネスマナーとコミュニケーション力を身につけ、職場での即戦力を身につける ■幅広い視野を持ち、積極的なキャリア形成に役立つ 				
授業概要	コミュニケーション力を高める為の話し方・聞き方・ことば遣いを身につけ電話・来客・訪問の応対力を養う。社内・社外・社交文書の知識を身につける。会社組織を理解し、報連相を演習で学ぶ。配慮の必要な顧客への対応や心理を学び、顧客満足度を高める。自己啓発と自己管理の出来る社会人を目指す。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション・授業目標・メールのマナー	19	電話応対③	
	2	就活・面接・企業研究シート	20	来客応対・名刺・紹介のマナー	
	3	自己分析・リフレーミング	21	バリアフリー①アシスト	
	4	GD攻略法・働く目的・世界の就活	22	バリアフリー②ハラスメント	
	5	敬語①	23	ビジネス文書①	
	6	敬語②	24	ビジネス文書②	
	7	敬語③	25	クレーム対応①	
	8	敬語テスト・解説	26	クレーム対応②	
	9	ソーシャルスキル①	27	顧客心理	
	10	ソーシャルスキル②	28	ストローク	
	11	文章上達①	29	知って得する社会のマナー	
	12	文章上達②	30	指示命令の受け方と報連相	
	13	創造力①	31	ビジネス文書①	
	14	創造力②	32	ビジネス文書②	
	15	創造力③	33	上手な仕事の進め方①	
	16	会社の使命・社員の役割	34	上手な仕事の進め方②	
	17	電話応対①	35	段取り力・8つの意識	
	18	電話応対②	36	上手な指導の受け方・愛される社員になる	
成 績 割 合	テスト	80%	学習FB方法	討議・演習個別評価とアドバイス 定期テスト解説	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は 不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	エアーニッポン(株)にてCA業務及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教育・マニュアル作成)を経験。現在は日本講師協会にて電話応対、課題解決、新入社員研修等を実施。実績は環境庁、東京都福祉保健局、各市役所、埼玉県産業振興公社・消費生活支援センター・日本旅行・りそな総研・みずほ不動産・三菱ビルテクノサービス・SEGA他				

シラバス

科目名	中国語Ⅱ		担当者名	劉時珍	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	中国語の基本を学び、初歩的な読み書き、会話、リスニング能力の習得とともに、中国の社会、文化、慣習についても触れる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	東アジアの近隣国家でありながら、日本と多くの違いを持つ異文化やその言葉に接することによって、英語以外の世界への入り口を開き、世界の多様性を理解する。外国人と積極的にコミュニケーションを取ることで、グローバルな人格形成に資すること。これから、アジアの世紀と言われている21世紀の先頭に立つ世代として、自分自身のキャリア形成を改めて思い描くことが期待される。				
授業概要	日常生活やビジネスに必要な語彙力から、文法に基づきながらも機能性を重視する表現方法、さらには実際の会話能力の習得を、授業、練習、課題、会話などを通して身に付けていく。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	ピンインⅠ	19	第四課会話、実践	
	2	ピンインⅡ	20	第五課語彙	
	3	第一課語彙	21	第五課文法	
	4	第一課文法	22	第五課練習問題	
	5	第一課会話、実践	23	第五課会話、実践	
	6	第二課語彙	24	第六課語彙	
	7	第二課文法Ⅰ	25	第六課文法	
	8	第二課文法Ⅱ	26	第六課練習問題	
	9	第二課練習問題	27	第六課会話、実践	
	10	第二課会話、実践	28	第七課語彙	
	11	第三課語彙	29	第七課文法、練習	
	12	第三課文法Ⅰ	30	第七課会話、実践	
	13	第三課文法Ⅱ	31		
	14	第三課練習問題	32		
	15	第三課会話、実践	33		
	16	第四課語彙	34		
	17	第四課文法	35		
	18	第四課練習問題	36		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>100% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール	中国語学、中国近代文学研究者				

シラバス

科目名	国内国際時事Ⅱ		担当者名	木花 章智	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	時事問題を深く読み解くための応用力を養います。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	初年度の授業で学習した制度や歴史に関する基礎的知識を前提として、問題をさらに深く・複眼的・構造的に把握できるようになることを目指します。日々生起する諸問題は、観察する観点の違いによって、見え方や捉え方が異なることを理解し、それと同時に、問題を単独に生じたものとして見るのではなく、多くの場合、それらは深部において相互に関連しあう構造を有するものであることを見抜く力をも養っていきます。				
授業概要	本年度から、時事の授業も対面授業に戻ります。授業では、テキストだけではなく、さまざまな映像資料などを用いて、政治や経済といった「とっつきにくい問題」も、できるだけ身近な問題として受け止められるように工夫していきます。				
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1	ガイダンス	19	地球環境問題①	
	2	日本の人口動態①	20	地球環境問題②	
	3	日本の人口動態②	21	日本のエネルギー政策①	
	4	日本の少子化対策①	22	日本のエネルギー政策②	
	5	日本の少子化対策②	23	男女格差問題①	
	6	日本の社会保障制度①	24	男女格差問題②	
	7	日本の社会保障制度②	25	選択的夫婦別姓問題	
	8	日本の財政状況①	26	LGBTQ	
	9	日本の財政状況②	27	外国人労働者問題①	
	10	物価上昇と賃金①	28	外国人労働者問題②	
	11	物価上昇と賃金②	29	臓器移植と脳死問題	
	12	2021年衆議院選挙と2022年参議院選挙	30	ゲノム編集	
	13	日本の安全保障政策①	31	人工知能(AI)①	
	14	日本の安全保障政策②	32	人工知能(AI)②	
	15	憲法改正問題①	33	メタバース	
	16	憲法改正問題②	34	アルテミス計画	
	17	日本の経済安全保障政策①	35	暗号資産(仮想通貨)	
18	日本の経済安全保障政策②	36	総復習		
成 績 割 合	テスト	40%	学習FB方法	成績評価	出席、定期試験、課題提出によって評価します。
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	20%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>70% A<<主体的参加型学習>>70% G<<海外体感型学習>>70%				
講師プロフィール	専門は政治学です。特に近代西欧政治思想史を研究しています。現在の日本が抱える問題について、若いみなさんと大いに議論したいと思えます。よろしくお願ひします。				

シラバス

科目名	プレゼンテーションⅡ		担当者名	中川 文康	
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開 講 期	必 選	授 業 時 間 数	36時間
開講学年	2学年	必・選			
授業目的	基本に忠実なプレゼンテーション技法の修得を通じて、コミュニケーションの質を高める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	プレゼン資料の作成から発表までを体系づけて学び、理想的なプレゼンテーションを実践できるように指導する。				
授業概要	①コミュニケーション強化の個人目標設定。 ②プレゼンテーションの本質を理解する。 ③資料作成技術(PPT)の修得。 ④話し方・表現など技術を学ぶ。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	・学習の狙いの確認・年間学習スケジュールの周知徹底・目標設定の重要性	19	個別の課題設定と目標設定	
	2	予め配布する「個人目標シート」への記載内容を発表し、講師&学生間で共有する ★「個人目標シート」は【課題提出物1】	20	設定演習課題への個別挑戦期間	
	3	予め配布する「自己紹介シート」に基づき発表。発表は全員。要約技術と時間管理の重要性の認識（演習発表形式）	21	設定演習課題への個別挑戦期間	
	4	予め配布する「自己紹介シート」に基づき発表。発表は全員。要約技術と時間管理の重要性の認識（演習発表形式）	22	設定演習課題への個別挑戦期間	
	5	プレゼンの本質を解説、イメージと認識の統一を図ると共にプレゼンへの取組姿勢を確認	23	設定演習課題への個別挑戦期間	
	6	プレゼンに臨む姿勢や心構え、「聞き手中心」の話し方に関わる実践演習 学生一人一人に体験させる(計2回に分けて全員が体験)	24	設定演習課題への個別挑戦期間	
	7	プレゼンに臨む姿勢や心構え、聞き手中心の話し方に関わる実践演習 学生一人一人に体験させる（時間管理との複合意識の強化を含め）	25	提出資料の改善・改良 個人別指導 (構成、内容、時間、表現、画像、フォントなど)	
	8	プレゼン資料の作成に当たり、準備すべき事柄や内容の確認と要点の解説。 資料作成時の留意点。	26	提出資料の改善・改良 個人別指導 (構成、内容、時間、表現、画像、フォントなど)	
	9	資料作成に当たり、最重要点である視覚印象を活かす為の留意点、グラフ、写真、イラストの活用法と、「一目の認識」について	27	提出資料の改善・改良 個人別指導 (構成、内容、時間、表現、画像、フォントなど)	
	10	プレゼン実施の際の「話し手」の留意点、時間管理、話し方、声、抑揚、スピード、間、その他ジェスチャー等の留意点	28	提出資料の改善・改良 個人別指導 (構成、内容、時間、表現、画像、フォントなど)	
	11	総合復習を通じて要点の再整理 ★課題プレゼン資料作成の為の指針・説明	29	提出資料の改善・改良 個人別指導 (構成、内容、時間、表現、画像、フォントなど)	
	12	・表紙について(講義と作成)	30	提出資料の改善・改良 個人別指導 (構成、内容、時間、表現、画像、フォントなど)	
	13	・目次について(講義と作成)	31	演習課題プレゼンの実践発表・実技指導 (話し方、時間管理、ジェスチャーなど)	
	14	・キーメッセージについて(講義と作成)	32	演習課題プレゼンの実践発表・実技指導 (話し方、時間管理、ジェスチャーなど)	
	15	・グラフとメッセージについて(講義と作成)	33	演習課題プレゼンの実践発表・実技指導 (話し方、時間管理、ジェスチャーなど)	
	16	作成資料に対する改良個別指導	34	演習課題プレゼンの実践発表・実技指導 (話し方、時間管理、ジェスチャーなど)	
	17	作成資料に対する改良個別指導	35	演習課題プレゼンの実践発表・実技指導 (話し方、時間管理、ジェスチャーなど)	
	18		36	演習課題プレゼンの実践発表・実技指導 (話し方、時間管理、ジェスチャーなど)	
成績割合	テスト	直接的なテストは実施せず。課題提出物の期日内提出で80%(80点)①10点 ②10点 出席率:10% (10点)	学習FB方法	・学生の演習課題提出、及び講師のコメント配信は対面及びTeamsの両面で対応することを原則・提出物の締切は絶対厳守	
	学習態度・出席率	学習態度:10% (10点)			
	レポート	必要に応じて調整あり	成績評価	プレゼン技術の本質理解を判断する。 S+90,A+80,B+70,C+60,D-59	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>70%:基本の理解、基本の動作で対応する R<実働実践型学習>50%:基本の応用活用と創造力の発揮 A<主体的参加型学習>50%:目標を持って自らが楽しんで挑戦する意欲と発力 G<海外体感型学習>25%:資料検索などで言語選定と情報の取捨選択及び理解				
講師プロフィール	物流企業で11年間海外勤務。役員として企業内大学を設立、学長として人材育成・社員教育に注力。プレゼン及びコミュニケーション技術の企業研修講師として10年のキャリアを活かし、学ぶ楽しさとモチベーションの継続させ、プレゼン発表を通じて人前で自信をもって話すことができるように指導。JAF元講師。社員教育コンサルタント。全日本弓道連盟会員。俳人協会会員。				

シラバス

科目名	パソコン実習 II		担当者名	入江 絵里	
学 科	鉄道交通科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	MS-Officeを利用して、情報を分析し、発信する能力を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1)Powerpointで効果的なプレゼンテーションを作成し、発表する。 2)Excelで報告書の作成やデータ分析などの基本操作を理解する。				
授業概要	1)効果的なプレゼンテーションの理解(知識の習得) 2)Powerpointの操作(技術の習得) 3)報告書で利用する計算式・グラフの適用・データ分析の理解(知識の習得) 4)Excelの操作(技術の習得)				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	PP① 自己紹介プレゼンの作成	19	Excel③ 表作成の基礎③	
	2	PP② プレゼンテーション基礎	20	Excel④ グラフ作成①	
	3	PP③ 図形の基礎①(表・図形・画像・SmartArt他)	21	Excel⑤ グラフ作成②	
	4	PP④ 図形の基礎②(図形描画のテクニック)	22	Excel⑥ 表とグラフ①	
	5	PP⑤ 画面に動きをつける(画面切り替え効果とアニメーション効果)	23	Excel⑦ 表とグラフ②	
	6	PP⑥ 図形の応用①(アウトライン機能)	24	Excel⑧ 後期中間実技試験(表とグラフ)	
	7	PP⑦ 図形の応用②(ロゴの作成とスライド)	25	Excel⑨ データベース機能①(並べ替え・フィルタ)	
	8	PP⑧ テキストの練習問題①	26	Excel⑩ データベース機能②(集計・ピボットテーブル)	
	9	PP⑨ テキストの練習問題②	27	Excel⑪ 関数応用①(COUNTA関数・RANK関数)	
	10	PP⑩ テキストの練習問題③	28	Excel⑫ 関数応用②(IF関数)	
	11	PP⑪ 課題作成①(効果的なプレゼンテーションの作り方)	29	Excel⑬ 関数応用③(VLOOKUP関数)	
	12	PP⑫ 課題作成②	30	Excel⑭ 関数応用④(日付関数 他)	
	13	PP⑬ 課題作成③	31	Excel⑮ 関数応用⑤(混合参照)	
	14	PP⑭ 課題作成④	32	Excel⑯ 総合演習①(関数・グラフ・データベースまとめ)	
	15	PP⑮ 発表①	33	Excel⑰ 総合演習②(関数・グラフ・データベースまとめ)	
	16	PP⑯ 発表②	34	Excel⑱ 後期期末実技試験(関数・グラフ・データベースまとめ)	
	17	Excel① 表作成の基礎①	35	後期期末筆記試験(コンピュータとITリテラシー)	
18	Excel② 表作成の基礎②	36	ファイル管理		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	授業で作成した課題を提出し、完成までフィードバックを繰り返す。完成した課題数に応じて、レポート(課題)を評価する。	
	学習態度・出席率				
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上、5段階評価(S~D)	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>20% R<実働実践型学習>50% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>10%				
講師プロフィール	コンピュータメーカーの教育部門で、教育コースの企画・教材作成・講師をしていました。現在は、教育機関で、IT系の資格取得の講座、キャリアデザインの授業、キャリアカウンセリングや就職支援講座の講師をしています。				

シラバス

科目名	接遇手話Ⅱ		担当者名	小川 奈緒子			
学 科	鉄道交通科		授業方法	講義			
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	36時間		
授業目的	①聴覚障がいについて理解を深める。 ②手話での基礎的な日常会話を習得し、コミュニケーション力を高める。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日常会話の手話語彙の習得。接遇手話の学習。聴覚障がい者への対応技術を学ぶ。						
授業概要	聴覚障がい者に配慮したサービスのあり方などの座学。日常会話や接遇手話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。						
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容			
	1	基本の復習と確認	19	接遇手話			
	2	基本の復習と確認	20	接遇手話			
	3	基本の復習と確認	21	接遇手話			
	4	基本の復習と確認	22	接遇手話			
	5	日常会話(例文練習)	23	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)			
	6	日常会話(例文練習)	24	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて			
	7	日常会話(例文練習)	25	聴覚障がい者の特性を理解する・先週の感想等の共有			
	8	日常会話(例文練習)	26	後期の復習			
	9	接遇手話	27	後期の復習/手話ソング(Xmasソング)			
	10	接遇手話	28	時節の手話			
	11	自己紹介の総復習	29	1年間の総復習			
	12	自己紹介の総復習	30	1年間の総復習			
	13	前期の復習	31	学年末試験(表出試験)			
	14	前期の復習	32	学年末試験(読み取り/筆記試験)			
	15	前期末試験(表出試験)	33	試験の返却/解説			
	16	前期末試験(読み取り/筆記試験)	34	1年間のまとめ			
	17	試験の返却/解説(前期の振り返り)	35				
18	前期のまとめ	36					
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	使用教材「豊かなコミュニケーション」(NPO 法人東京都中途失聴。難聴者協会発行)			
	学習態度・出席率	40%					
	レポート	10%	成績評価			出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~6 9点 D59点以下は不合格	
	合計	100%					
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>0%						
講師プロフィール	手話通訳士として講演会・会議。その他の日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。						